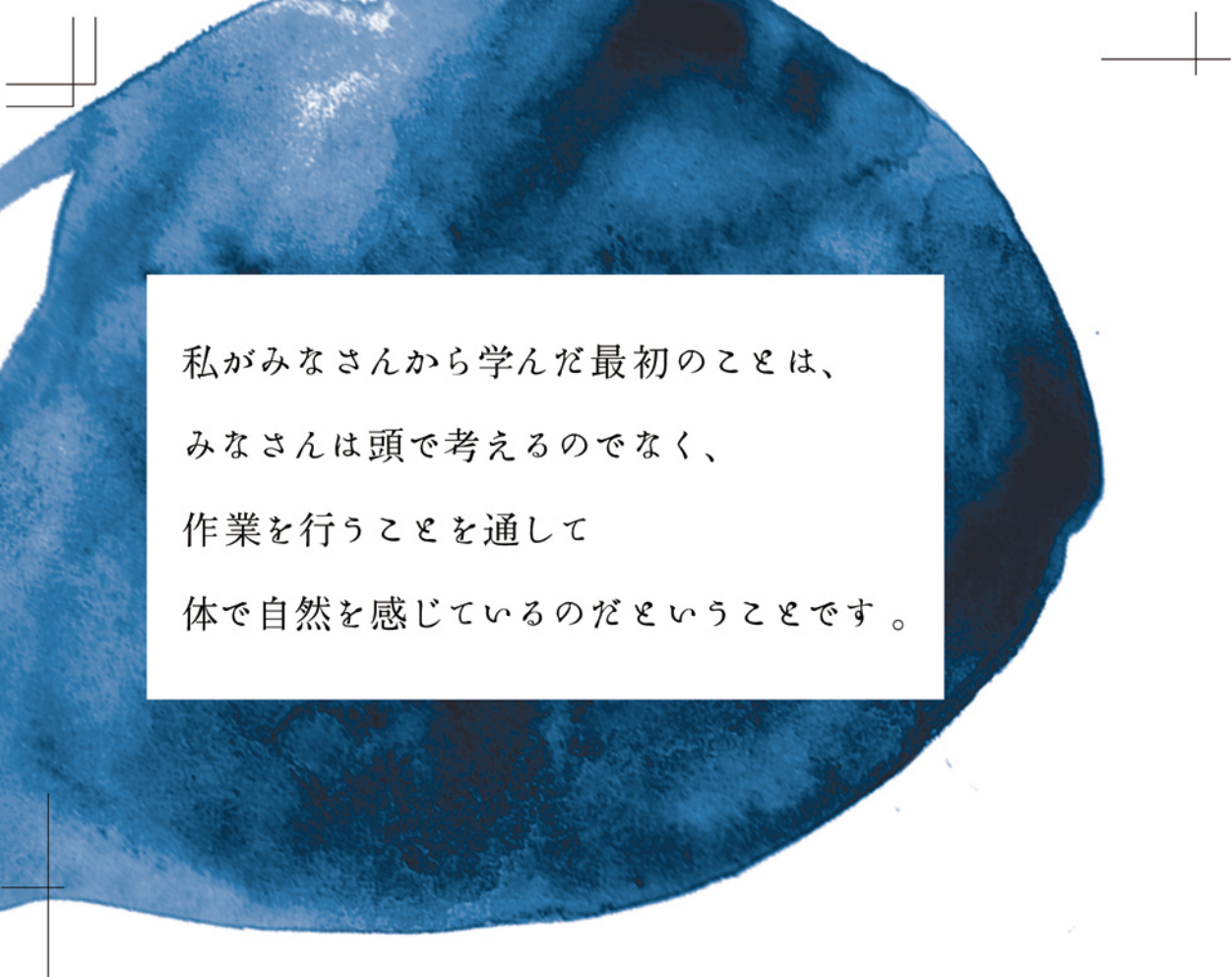


Farmer & Art

Feedback Discussion book
Natalie Leung



私がみなさんから学んだ最初のことは、
みなさんは頭で考えるのではなく、
作業を行うことを通して
体で自然を感じているのだということです。

私たち研究者は、物事に対して言葉で説明しようとしています。

しかし農家のみなさんは、頭で考えるより先に、ただ行動する、
ということを多くされているように見えます。

その行動というのは、言葉で説明することより、体で感じること、
感覚、想い、情熱の中にあるように思います。

農家のみなさんにとって農業というのは、研究者が考えている
ような難解なものではないのです。

農家のみなさんにとって、農業はただ理論を実践する、ただ作業
をする、ということだけでなく、体をつかって、どのように土や草を
理解していくかということなのだと思います。

私がみなさんから
学ばせていただいて
印象的だったのは

・ 頭でっかちになっていないということ。私たち人間を

人間たらしめる大切な能力について忘れていないということ。

・ 感覚や体感を信じることを恐れていないということ。

もし感覚的に合っていないと感じることがあったらそれはしないし、

他にもっと合っていると感じる方法を実践している。

・ 例えそれが困難な道であっても、挑戦し続け、決して諦めないということ。

・ この世界には、こういう生き方もあるのだということを体現していること。

大多数の人が行っていることとは違うことを実践していて、

私たちはそこに新しい可能性を感じることができるということ。



体を通して考える

ということについてのインタビューより

香り、あなたはそれを嗅ぐことができます。

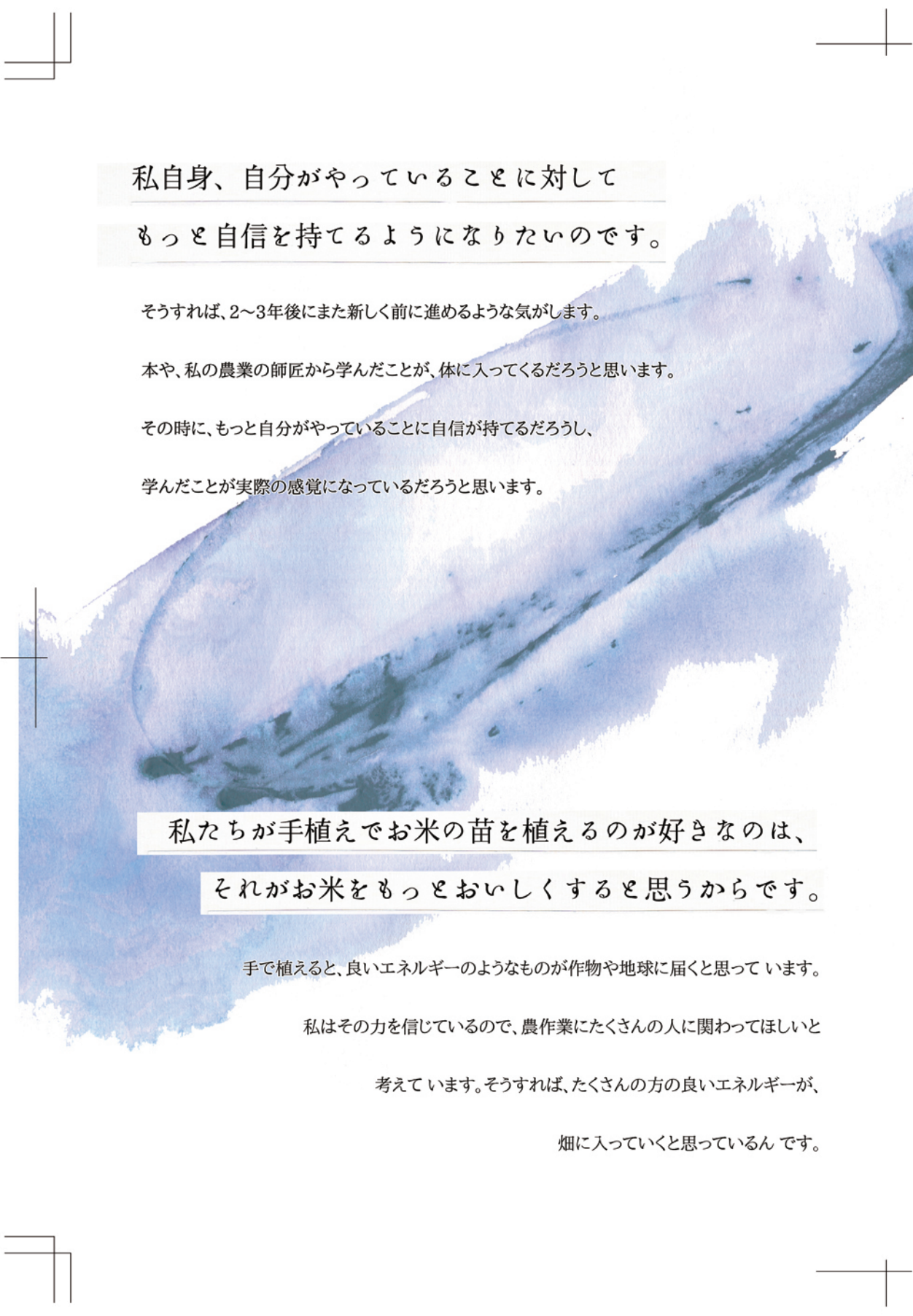
それを感じ、触ることができ、味わうことができます。

もしその作物が上手に育っていなかったら、その作物の形からでもそれはわかります。

例えばトマトをよく観察すると、トマトに生えている細かい毛の感触もわかります。

もっと経験が必要だと考えています。いろいろなことが、影響を与えます。

土、水、天気、そのほか諸々あります。



私自身、自分がやっていることに対して

もっと自信を持てるようになりたいのです。

そうすれば、2〜3年後にまた新しく前に進めるような気がします。

本や、私の農業の師匠から学んだことが、体に入ってくるだろうと思います。

その時に、もっと自分がやっていることに自信が持てるだろうし、

学んだことが実際の感覚になっているだろうと思います。

私たちが手植えでお米の苗を植えるのが好きなのは、

それがお米をもっとおいしくすると思うからです。

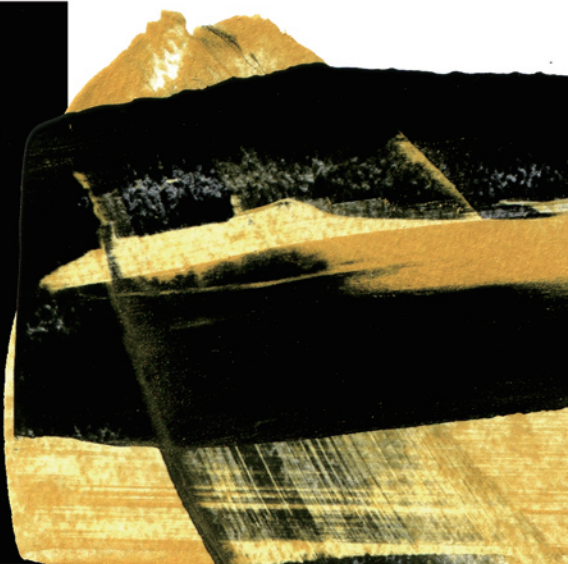
手で植えると、良いエネルギーのようなものが作物や地球に届くと思っています。

私はその力を信じているので、農作業にたくさんの人に関わってほしいと

考えています。そうすれば、たくさんの方の良いエネルギーが、

畑に入っていくと思っているんです。

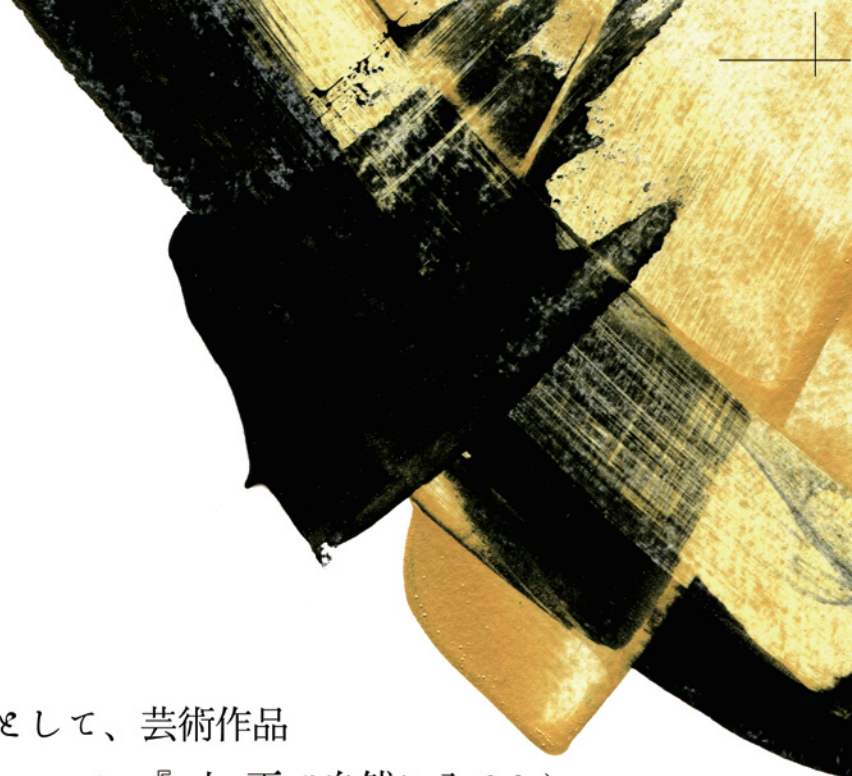
私がみなさんから学んだ
2つ目のことは、農業に関する
多くのことが、ただ人が行う
ことという以上に、自然や
土壌、天気、環境、そして
人と農作業、土地の景観とが
相互に影響を与えているもの
だということです。



もともと、私の研究は農家さんと芸術の関係について、
というところから始まりました。

結果としては、みなさんのほとんどが、ご自身の農業と芸術の間にあまり関係がない
ということがわかりました。一部の方にとっては、芸術作品のもつ意味が農家としての
生活に共鳴する部分があることで、関係のあるものでした。またある一部の方にとっては、
地域の景観、棚田自体が芸術でした。例えば、素晴らしい景色に魅入る瞬間があります。
また、その景色、景観を守るための労働に疲れ、ストレスを感じる時もあります。

そのようなことから、農家のみなさんがどの ように農作業と景色を関係づけるのか、そして
その景色、景観がみなさんの中のなにに共鳴するのかもっと知りたいと思いました。



これは例として、芸術作品
(トーマス・エラー『人 再び自然に入る』)
に関してインタビューからの引用です。

- ・この人と木がつながっている、というところが好きです。

季節の変化に順応していくというのが、雪国の生活です。

冬は、休む季節です。土壌も人間も休むことによって健康的で良い状態になります。

また、冬の厳しさがあることで、春への欲びや感謝が増すように思います。

- ・この人型と木が並びあっていて、両方正面を向いている。

お互いを見ていないし、お互いに何かし合っているわけではない。

この2つはただ、生きていて、同じ方向を見ながら共存している。

これは、人は自然の一部で、私たちは平等で友人であるということを

示しているのではないかと思います。

芸術作品と自然

についてのインタビューより

芸術作品は、私にとっては
空気のようなものです。

もし私が農業と芸術を関連づけるとすれば、それはもっと、

私がどのようにその場所に関わっているかということ、

その土壌を形づくったかということです。

私はこの(芸術作品のある)田んぼで作業をしています、

なぜこの田んぼの一部がこんなに深く沼みたいなのかと

思っていました。そうしたらそれは、土砂崩れがあったところだった

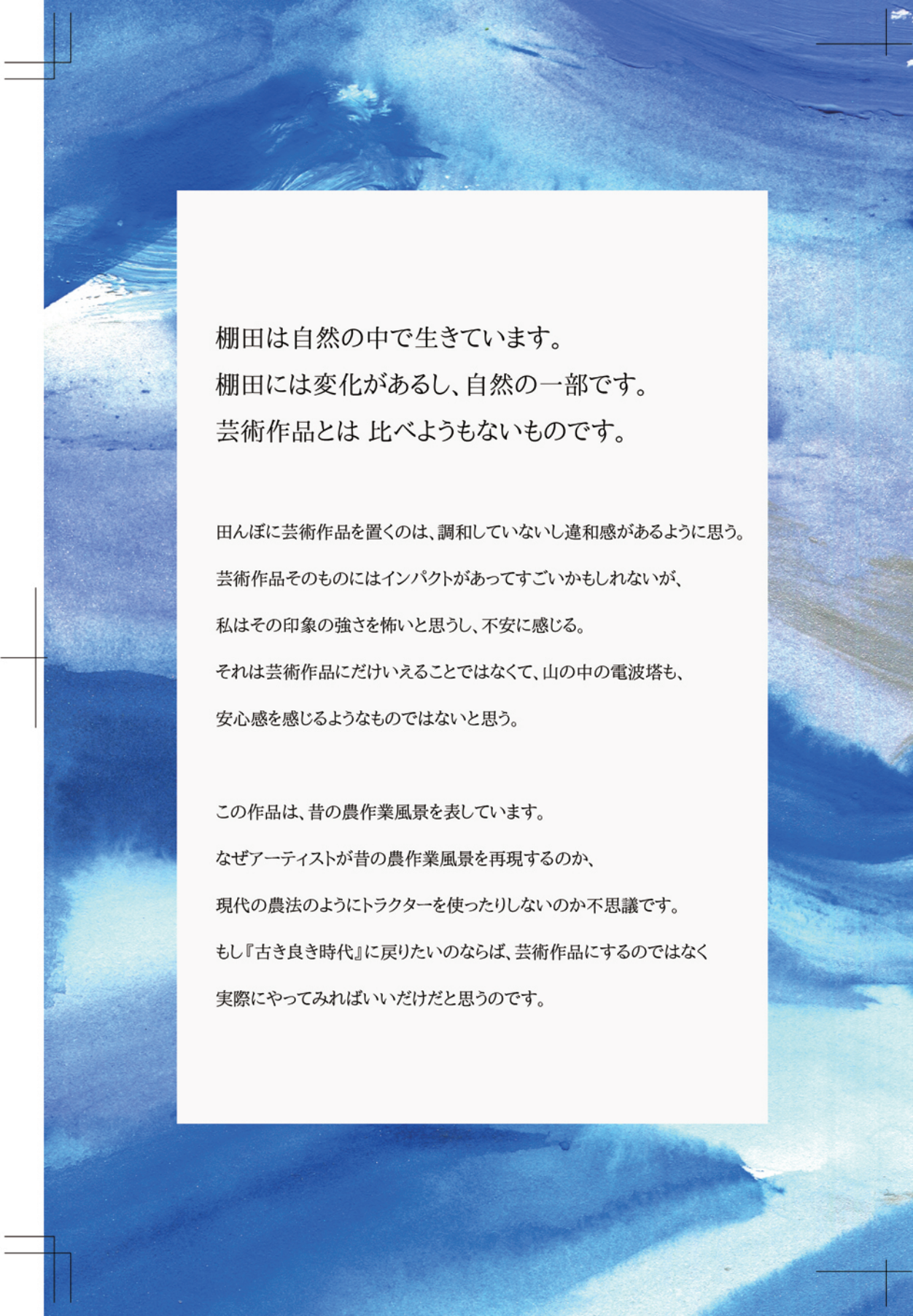
のです。その場所で作業をすることで、土砂崩れがどんなものだった

のか、そしてどうなったのかということを学んだのです。

人口的につくられたものより、もっときれいで素晴らしいものが

自然の中にはある。田んぼや棚田はとてもきれいで、やはりそれを

見ると芸術作品にはあまり興味がわからない……



棚田は自然の中で生きています。
棚田には変化があるし、自然の一部です。
芸術作品とは 比べようもないものです。

田んぼに芸術作品を置くのは、調和していないし違和感があるように思う。
芸術作品そのものにはインパクトがあつてすごいかもしれないが、
私はその印象の強さを怖いと思うし、不安に感じる。
それは芸術作品にだけいえることではなくて、山の中の電波塔も、
安心感を感じるようなものではないと思う。

この作品は、昔の農作業風景を表しています。
なぜアーティストが昔の農作業風景を再現するのか、
現代の農法のようにトラクターを使ったりしないのか不思議です。
もし『古き良き時代』に戻りたいのならば、芸術作品にするのではなく
実際にやってみればいいだけだと思うのです。

みなさんと話してみたい質問

あなたにとって、景色とはなんですか？

人の手によって形作られた棚田なのか、

もしくはその風景のある林や山全体ですか？

あなたの地域の景色の捉え方は、

旅行者や一般の人(農業をしない人)と違うと思いますか？

もしそうだとしたら、どのように捉えていると思いますか？

多くの方が、景色や棚田の方が芸術作品よりも

美しくすばらしいとおっしゃっていました。

景色のなにか、美しくすばらしいとを感じるのですか？



'This project has received funding from the European Union Horizon 2020 research and innovation programme under the Marie Skłodowska-Curie grant agreement No 765389'.

English translation for the handout

Part 1:

Researchers seek to give words to things. To farmers, however, there are many things that they just do it without thinking much. They are beyond words but more in their bodies, senses, feelings and emotions. Farming is something far less complicated to farmers themselves than how researchers think of it.

研究者は、物事に対して言葉で説明しようとしします。しかし農家のみなさんは、頭で考えるより先に、ただ行動する、ということが多くされているように見えます。その行動というのは、言葉で説明することより、体で感じる、感覚、想い、情熱の中にあるように思います。農家のみなさんにとって農業というのは、研究者が考えているような難解なものではないのです。

To farmers, farming is more about doing and practices, and how they interact with soil and plants with their bodies. The first thing I learn from you is that **you not think through your mind, you think through your body by doing, feeling and sensing the nature.**

農家のみなさんにとって、農業はただ理論を实践する、ただ作業をする、ということだけでなく、体をつかって、どのように土や草を理解していくかということなのだと思います。私がみなさんから学んだ最初のことは、みなさんは頭で考えるのではなく、作業を行うことを通して体で自然を感じているのだということです。

What I found impressive from you:

- You are not stuck in your mind, you do not forget about the important capabilities that make us humans
- You have the courage to trust your feelings and bodies. You refuse to do things that don't feel right to you. You engage in alternative practices that make more sense to you
- You persevere, you keep trying even though it is the winding way
- You show that there is another way to live in this world. You show that by doing things differently, we can see new possibilities

私がみなさんから学ばせていただいて印象的だったのは、

・頭でつかちになっっていないとうこと。私たち人間を人間たらしめる大切な能力について忘れていないということ。

・感覚や体感を信じることを恐れていないということ。もし感覚的に合っていないと感ずることがあったらそれはしないし、他にもっと合っていると感ずる方法を実践している。

・例えそれが困難な道であつても、挑戦し続け、決して諦めないということ。

・この世界には、こういう生き方もあるのだということを体現していること。大多数の人が行っていることとは違うことを実践していて、私たちはそこに新しい可能性を感ずることができるということ。

Here are some quotes showing how some of you think through your bodies:

体を通して考える、ということについて、インタビューからの引用です。

The scent, you can smell it... you can feel it, touch it and you can taste it. If the crop is not doing well, I can see the failure from their shapes. If you look at a tomato closely, you feel the hair....

香り、あなたはそれを嗅ぐことができます。それを感じ、触ることができ、味わうことができます。もしその作物が上手に育っていなかったら、その作物の形からでもそれはわかります。例えばトマトをよく観察すると、トマトに生えている細かい毛の感触もわかります。

I need more experiences, many things can change the condition... soil, water, weather and everything, I need more confidence in what I am actually doing, then I can move on after 2-3 year. What I have learnt from books and my mentor will be more in my body. I will feel more confident and have an actual sense of what I was taught.

もっと経験が必要だと考えています。いろいろなことが、影響を与えます。土、水、天気、そのほか諸々あります。私自身、自分がやっていることに対してもっと自信を持てるようになりたいのです。そうすれば、2-3年後にまた新しく前に進めるような気がします。本や、私の農業の師匠から学んだことが、体に入ってくるだろうと思います。その時に、もっと自分がやっていることに自信が持てるだろうし、学んだことが実際の感覚になっているだろうと思います。

We like planting rice by hands because it makes rice more delicious. When we use our hands to touch the plants, some good energy is transmitted to the plants and the Earth. I believe in the power of it, that's why I want more people to be involved in my farming, and I can get a lot of good power from a variety of people.

私たちが手植えでお米の苗を植えるのが好きなのは、それがお米をもっとおいしくすると思うからです。手で植えると、良いエネルギーのようなものが作物や地球に届くと思っています。私はその力を信じているので、農作業にたくさんの人に関わってほしいと考えています。そうすれば、たくさんの方の良いエネルギーが、畑に入っていくと思っているんです。

Part 2:

The second thing I learn from you is that many aspects of farming are not just purely about the farmer/human, it is also about nature, soil, weather, environments, and **the interdependence of humans, farming practices, and the landscape**. Originally my research started with the relationship between farmers and artworks. I found that to most of you there is not much interaction between your farming and the artworks. To some of you the artworks matter because some aspects of the artwork resonate with your farming life. To some of you, the landscape, the rice terraces are the artworks instead.

みなさんから学ばせていただいたことの2つ目は、農業に関する多くのことが、ただ人が行うことという以上に、自然や土壌、天気、環境、そして人と農作業、土地の景観とが相互に影響を与えているものだということです。もともと、私の研究は農家さんと芸術の関係について、というところから始まりました。結果としては、みなさんのほとんどが、ご自身の農業と芸術の間にあまり関係がないということがわかりました。一部の方にとっては、芸術作品のもつ意味が農家としての生活に共鳴する部分があることで、関係のあるものでした。またある一部の方にとっては、地域の景観、棚田自体が芸術でした。

For example, there are beautiful moments when you felt captured by the amazing landscape. There are also stressful moments when the physical work to maintain this landscape is exhausting. Thus, I would like to know more about how you relate your farming practices to the landscape, and what the landscape echoes in you.

例えば、素晴らしい景色に魅入る瞬間があります。また、その景色、景観を守るための労働に疲れ、ストレスを感じる時もあります。そのようなことから、農家のみなさんがどのように農作業と景色を関係づけるのか、そしてその景色、景観がみなさんの中のなにに共鳴するのかもっと知りたいと思いました。

Some examples of what some of you see in the artworks:

これは例として、芸術作品（トーマス・エラー『人 再び自然に入る』）に関してインタビューからの引用です。

The person and the tree are connected, I like the whole image. It is the adaption to the changing seasons that make the 'snow country life'. Winter is the season for taking a rest, it makes soil and humans healthy and in good shape. Also, when it is hard to survive in winter, we are more grateful for spring.

This person is standing next to the tree, it looks like they are both looking at the front, not seeing each other or not doing anything to each other. They are just living, co-existing and looking at the same direction. It represents that humans are part of nature and we are equal, we are just friends.

この人と木がつながっている、というところが好きです。季節の変化に順応していくというのが、雪国の生活です。冬は、休む季節です。土壌も人間も、休むことによって健康的で良い状態になります。また、冬の厳しさがあることで、春への喜びや感謝が増すように思います。

この人型と木が並びあっていて、両方正面を向いている。お互いを見ていないし、お互いに何かし合っているわけではない。この2つはただ、生きていて、同じ方向を見ながら共存している。これは、人は自然の一部で、私たちは平等で友人であるということを示しているのではないかと思います。

Some examples of what some of you see beyond the artworks:

そして、こちらは一部の方が芸術作品を越えて見ているものについてインタビューからの引用です。

The artworks are just like air to me. If I have to relate farming with art, it is more about how I am involved with the land, how I shaped the land. I am taking care of this piece of land (with artwork on it), I was wondering why some parts of the land are so deep and muddy. I figured out there was a landslide over here. Through working on the field, I came to realize what it was like and how it became.

芸術作品は、私にとっては空気のようなものです。もし私が農業と芸術を関連づけるとすれば、それはもっと、私がどのようにその場所に関わっているかということ、その土壌を形づくったかということです。私はこの（芸術作品のある）田んぼで作業をしていますが、なぜこの田んぼの一部がこんなに深く沼みたいなのかと思っていました。そうしたらそれは、土砂崩れがあったところだったのです。その場所で作業をすることで、土砂崩れがどんなものだったのか、そしてどうなったのかということ学んだのです。

There are more beautiful and great things in nature than artificial things, rice fields and rice terraces are so beautiful, that's why I am not interested in art...

人口的につくられたものより、もっときれいで素晴らしいものが自然の中にはある。田んぼや棚田はとてもきれいで、やはりそれを見ると芸術作品にはあまり興味がわかない・・・

Rice terraces are living in nature, they are changing, they are part of nature, it is not the same as those artificial art pieces

棚田は自然の中で生きています。棚田には変化があるし、自然の一部です。芸術作品とは比べようもないものです。

It is not harmonious and compatible to put artworks on rice field. The art piece might have an impact by itself, but I feel scared or anxious from the strong impression. It is not only about art pieces, if you see electric tower in the mountain, it is something you do not feel safe.

田んぼに芸術作品を置くのは、調和していないし違和感があると思う。芸術作品そのものにはインパクトがあつてすごいかもしれないが、私はその印象の強さを怖いと思うし、不安に感じる。それは芸術作品にだけいえることではなくて、山の中の電波塔も、安心感を感じるようなものではないと思う。

These are the shapes of how people farm in the old way, I wonder why they put the figures of the old way, but not in the way of how they are doing it right now, e.g.

using tractors. If one wants to go back to the 'good old days', they should just do it, instead of just putting it in an artwork.

この作品は、昔の農作業風景を表しています。なぜアーティストが昔の農作業風景を再現するのか、現代の農法のようにトラクターを使ったりしないのか不思議です。もし『古き良き時代』に戻りたいのならば、芸術作品にするのではなく実際にやってみればいいだけだと思うのです。

Questions that I would like to discuss with you:

みなさんと話してみたい質問について：

What is the landscape to you? Just the rice terraces shaped by farmers, or also the wilder part like forests, mountains?

あなたにとって、景色とはなんですか？人の手によって形作られた棚田なのか、もしくはその風景のある林や山全体ですか？

Do you think that the way you look a landscape is different from a layperson/a visitor? If yes, how?

あなたの地域の景色の捉え方は、旅行者や一般の人（農業をしない人）と違うと思いますか？もしそうだとしたら、どのように捉えていると思いますか？

Many of you have said the landscape and rice terraces here are more beautiful than art pieces, what is it that you found beautiful from the landscape?

多くの方が、景色や棚田の方が芸術作品よりも美しく素晴らしいとおっしゃっていました。景色のなにか、美しく素晴らしいと感じるのですか？